

追悼 佐藤智先生

代表理事 辻 彼 南 雄

ライフケアシステム創立者佐藤智先生が去る11月14日、住み慣れたご自宅でお二人のお子様に見守られ、安らかに亡くられました。92歳でした。ご葬儀は11月19日に国際基督教大学礼拝堂にて営まれました。

佐藤先生のご趣味はペンと水彩によるスケッチ画でしたが、ご葬儀では、軽井沢から望む浅間山と南インドの病院で1年間暮らされた家のスケッチ画の葉書、そして目白にあった生家と自作模型の写真の葉書が参列者にお花とともに配られました。

佐藤先生の最後の日々をお伝えいたします。佐藤先生は、7年ほど前に代表理事を退き会長となられてから、ご自宅で日記やお手紙を整理されたり、趣味のスケッチ画を描いたり、生家の模型づくりをされていました。

5年前からは健康管理のため、私が定期的に訪問診療をさせていただいておりましたが、この夏から体力が徐々に低下し、外出することも少なくなっておられました。

亡くなる4日前には元スタッフ数名がご自宅をお訪ねして讃美歌をご一緒に歌われました。3日前にはクリニックにご自分の携帯電話からお電話をくださいました。2日前、車いすでの外出時に一瞬意識を失うことがあり、翌日私が往診したときには全身の衰弱のため、声をお出しになることはありませんでしたが、私が診察していることはよくわかっておいででした。ベッドの足元には、お父様の思い出の聖家族の絵と瑞枝夫人のご遺影がありました。

毎年高齢会員にお送りしている恒例のクリスマスカードは、今年もスタッフと会員ボランティアの方々と作成されました。そのカードには今年も佐藤智先生の署名があります。これはご自宅で療養中の10月18日に書いていただいたもので、先生の最後の自筆のサインです。

キリスト者として、医師として、在宅医療の指導者として、佐藤先生の業績は数多くありますが、私たちにはライフケアシステムという最も大切なものをつくってくださいました。

今後も、佐藤先生の遺志を継いで、ライフケアシステムの活動を会員の皆さんとともに続けてまいりたいと思います。

今は天におられる佐藤智先生の私たちへの限りない配慮（ケア）に心から感謝いたします。

(ライフケアだより 2016年12月号より)